すずの郷新聞 第80号

かけがえのない日々

～心のふるさと吉野へ　芳滝昭賢さん～

生まれ故郷は誰しもが懐かしく大切な所ですが、長い人生の中で、たとえ短い時間でもかけがえのない人との出会いや豊かな時間を過ごした場所が、生まれ故郷以上に大切な所にもなるということを教えて下さった芳滝昭賢さん。日常会話から、大切な場所と聞いていた所に、実際にご本人と行き、その土地の空気に触れ、その土地の人に会うことによって見えてくるものがたくさんありました。

今回のかけがえのない日々は、大切な心の故郷、吉野へ里帰りした芳滝昭賢さんです。

約1年前に入居された芳滝昭賢さん。入居された時は、毎日ベットの上で生活されていました。食欲もなく、食事は高カロリー飲料をベット上で飲まれていました。以前入居されていた施設でも、ベットのまま食堂に行って食事をされていたとのことで、まずは座って食事をしていただこうと色々と試みましたが、あまり食べては下さいませんでした。

ある日、昔よく食べていた物は何か尋ねてみると「善龍寺にいた時は、1日4回茶粥を食べていたよ」と教えてくださいました。

奈良の山々の風景が見えてくると、その懐かしさに涙を堪えきれない昭賢さん

愛西市生まれの昭賢さんですが、縁あって奈良の吉野でお寺の住職をされていたことがあります。その地域では、日常的に茶粥を食べる習慣があるとの事。早速、茶粥を作ると「懐かしいな…黒滝村は本当にいい村だった。もう一度行きたいな」と言いながら召し上がられました。いつか黒滝村に行こうと約束し、昭賢さんが好きなおそばを食べていただいたり、コンビニへ出掛け好きな物を買って食べていただいたりして、少しずつ離床時間が増えていきました。

「吉野に行くなら桜の咲く4月がいいな」とのことで、今年の4月、奈良県黒滝村の善龍寺に行く計画を立てました。現在のご住職に連絡を取ってみると「昭賢さんとは20年以上会っていませんが、そういうお話なら…」と快諾して下さいました。

車椅子を下り25段の石段を登られ驚きました

石段を登り本堂を見て涙される昭賢さん

現住職さんのお経を聞いて一緒に唱えられました

当日。道中の車の中では、当時の思い出話が止まらない昭賢さんでしたが、桜が舞い散る山道に入ると急に黙り込まれました。ふと昭賢さんを見ると唇を噛みしめ涙を堪えておられました。「奈良の風景が懐かしく、涙がでてくる」と。善龍寺に着くとご住職が昭賢さんを知るご近所の方々に声を掛けて下さり、皆さんで出迎えて下さいました。本堂までは25段の石段が。普段は車椅子に移る時などに2、3歩しか歩かれない昭賢さんですが、お寺の門までの25段の石段を涙を流しながら一歩一歩登られました。本堂まで歩き、ご住職がお経を上げて下さると、昭賢さんも一緒に唱え始められました。今でもはっきりとお経を覚えておられました。その後、当時生活されていた部屋を歩いて回りました。

「ここは着物をしまってある部屋だった。ここは…」と懐かしそうに歩かれました。ご近所の皆さんと話していると、昔の記憶がどんどん蘇り、懐かしい人たちの名前が次々と出てきます。一番お世話になったという『こみつさん』は残念ながら5年前に100歳で他界されていましたが、こみつさんの息子さんと沢山お話をすることができました。「本当にいい人ばかり。いい村だった」と何度も繰り返され、話は尽きません。黒滝村にいたのは数年だそうですが、昭賢さんには良い思い出が残る大切な場所だと分かりました。帰りの車の中でも「本当に行けて良かった。泣けて泣けて…」と涙が止まりませんでした。この感動をずっと覚えていて頂きたいと思い、昭賢さんのお部屋に善龍寺の写真を飾りました。ひと月たった今でも写真を見ては「生まれた所ではないけれど、自分の故郷みたいな所。もう一度行けて良かった。幸せや。泣けてくる」と話されます。片道5時間。善龍寺には、わずか1時間の滞在でしたが、実際に昭賢さんの思い出の地に行くことで、昭賢さんの人生に関わることができたように感じました。今度は3度目のお遍路に行きたいと新たな目標もできました。たくさん泣いて、たくさん食べて、充実した吉野への旅となりました。

（山本直美）

懐かしい部屋を見ながら歩いて回ります

懐かしい近所の皆さんと昔話に花が咲きました

昔の写真を見て盛り上がりました

帰り際、皆さんと記念写真を

皆さんと別れの挨拶。感動の再会となりました

お部屋の写真を見て涙

お昼も夜もラーメンを召し上がられました。「ラーメンと焼き飯が好きだ」と。食事を食べられなかった頃が嘘のようです!!

施設長のひとこと

4ああああああああああああああああああああああ
ああ

今月のベストショット

『いちご夢ファーム愛西』にいちご狩りに出掛けました。夢ファームには、いちごの被り物があり、それぞれ皆さん被っていちごちゃんになり写真を撮りました。皆さんお腹いっぱいでも、イチゴをたくさん召し上がって大満足。楽しい春の外出になりました。

春だ～おでかけだ～

外も温かくなり、4月はお出掛けがいっぱい!!
ユニットでは、皆さん一緒にお花見に出掛け、
個人の外出も皆さん色々な所に
出掛けられました。
皆さんのお出掛けの
笑顔の写真をまとめました!!

個人のおでかけ

木曽三川公園へ。大好きなスタッフとデート♩

奥さまと行きつけの「こすも」に行きました♪

「こすも」にて。初めて親子３人での外出!!

久しぶりのバイキングで唐揚げをたくさん食べました

念願の谷汲しいたけ園へ大好きな椎茸を前にニッコリ♡早く焼けないかな。

待ちに待った御園座柿落とし公演!!柿落としと襲名披露歌舞伎を観るのが夢でした!!

音楽が好きなお二人。
セントラル愛知交響楽団公開リハーサルを聴きに来ました♡

ふるさと農園美の関へいちご狩りに出掛けました。
美味しくてお腹いっぱい!!

久しぶりの津島神社へ!
健康と豊作をお祈りしました。

ユニットお花見

武光観光だより

～極楽寺公園ＢＢＱ～

4月10日に一宮市大野極楽寺公園でBBQを行いました。当日は気温が高く、快晴のBBQ日和となりました。

公園に到着後、女性の入居者さんやご家族様、スタッフで手際良く、玉ねぎ等の材料の下ごしらえをして早速BBQを開始しました。立石さんと寺澤さんはすぐに大好きな日本酒を飲み、外でのお酒を楽しんでおられました。BBQのメニューはお肉や野菜をはじめ五平餅、フランクフルト、焼きそば、おにぎり、スイカ等があり、皆さん「天気も良いしご飯も美味しい」と満足された様子でした。

今回は立石さん、岩堀さん、十時さん、三輪田さんのご家族の参加があり、ご家族の時間も楽しまれていました。立石さんはお酒を飲んで気持ち良くなり、芝生の上でスヤスヤとお昼寝をされていました。

7月の武光観光は世界遺産白川郷。締め切りは６月１日です。沢山のお申込みをお待ちしています。

（青山めぐみ・野田正史）

石原孝子さん
想いを叶えて元気になる

食べることが大好きな石原孝子さん。「ご飯好きですか？」と聞くといつも「大好き～!!」と言われます。そんな孝子さんですが、最近あまりご飯が食べられなくなってきました。また好きな物を沢山食べていただきたいと思い、孝子さんのご自宅へ帰ったり大好きな野球観戦へ出掛けました。

ご自宅では、長女さんご夫婦や滋賀から次女さんやお孫さん。近くに住まわれる弟さんご夫妻や近くのお孫さんひ孫さん、大勢の皆さんと楽しい時を過ごされました。あんこが好きな孝子さん。娘さんが買ってきてくださった赤福の周りのあんこを何と!!８個分も召し上がられ、あんこを召し上がる孝子さんの幸せそうなお姿にとても嬉しくなりました。また、大好きな野球が開幕し、早速ナゴヤドームにも出掛けました。中日の応援が始まるとメガホンを振られる孝子さん。長時間の外出で体調が心配でしたが「最後まで観ます!!」という孝子さんの熱意に感激しました。残念ながら中日は負けてしまいましたが「また観に行きたいです!!」と孝子さん。この熱い想いにまた応え、毎日の食事も楽しんでいただき、孝子さんがやりたいことや食べたいものを楽しんでいただけるよう孝子さんの想いを大切にしていきます。

（佐久間恵美）